

パラオ戦記

守分勝政さん

先日、今年4月に天皇皇后両陛下が、戦没者を慰霊⁽¹⁾するため、パラオ共和国を訪問することが決定したと発表された。

昭和19年8月下旬、私はパラオ守備の海軍第30根拠地隊の主力戦闘部隊である第45警備隊指揮下の本島南部にあるアイライ⁽²⁾高角砲台の分隊士として、連日豪北方面から飛来する米軍大型爆撃機の大編隊を迎撃、爆弾⁽³⁾の炸裂、雨の如き銃撃、吹き上がる硝煙⁽⁴⁾の中、激しい対空戦闘を行っていた。

7月、既にサイパン、グアムを制圧した米軍は、フィリピン奪回をめざし、まず陸上航空基地を求めてパラオに來襲することは必至の状況にあった。果たして9月7日、夜明け

とともに東方海上に敵艦船群を発見、空母11隻を含む艦艇、輸送船100隻以上の大攻撃部隊の來襲である。フィリピン作戦の先駆として予期されていたパラオ防衛戦の幕が切って落とされる。次々と発進する艦載機数十機の大編隊が我が砲台に殺到する。数十機づつが我が砲台めがけて銃撃しつつ急降下、爆弾を投下し東方海上に逃れて行く。

我々を掩護⁽⁵⁾して友軍の機銃砲台も一斉射撃を始める。轟音天地を揺るがす。決死の興奮か、何も考える余裕なし、砲台全員阿修羅の如く対空戦闘を継続す。敵軍機は終日パラオ本島上空を乱舞して、弾薬、食糧、燃料等の集積個所に徹底攻撃を行い、全島火焰⁽⁶⁾と濛々たる硝煙に覆われる。地獄の戦場に夜が訪れ、敵機の攻撃も散発的となる。全員気を取り直して、戦死者の収容、病院移送、戦死者の埋葬を行う。



9月15日、米軍は本島の南40キロの南洋最大の飛行場のあるペリリュー島とその南のアンガウル島に上陸を開始する。⁽⁷⁾ 凄絶極まる砲爆撃下、中川大佐指揮の水戸歩兵第二連隊を基幹とする陸海守備隊1万は、当時世界最強の軍隊と豪語する第一海兵師団（ファーストマリーン）4万を迎撃⁽⁸⁾、猛烈果敢なる反撃に出る。⁽⁹⁾ 陸軍南方総軍より「我に救援の手段はなく⁽¹⁰⁾ 徒⁽¹¹⁾に貴軍の孤軍奮闘を祈るのみ。」、また連合艦隊から「南西方面部隊をして作戦支援を命じたるも、その航空兵力不足にして貴軍の期待に副えざるを⁽¹²⁾ 遺憾とす。」との電報が来る。今更何に頼らん、守備隊の闘魂更に燃え上がる。高崎十五連隊飯田大隊の逆上陸、海軍水偵2機による夜間決死の爆撃に米軍海兵隊は死傷者50%を越え、遂に戦線離脱。⁽¹³⁾ 陸軍第81師団と交代する。圧倒的物量を前に死闘2か月余り、守備隊は11月24日遂に最後の時を迎える。中川大佐は残兵55名に遊撃戦を命じ、守備隊の最後を示す暗号「サクラ、サクラ」を集団に連送し、⁽¹⁴⁾ 自決する。⁽¹⁵⁾

更にもう1つ述べたい事、それはパラオでは将に軍民一致団結の戦いであった。しかし、ペリリュー島では既に民間人の安全を願って本島に送っており、残った青年男女は軍と共に戦い抜いたのである。女性グループの一群は洞窟にこもり銃を取り、勇敢にも米兵を狙撃してきたのを見たとの米軍の証言もある。また、アンガウルでは隊長後藤少佐は、共に戦いたいと言う島民に「死ぬのは軍人だけでよい。みなさんは安全地帯で生き残り、米軍の保護を受けなさい。」と前線から退避させたとのこと。

11月以降、主戦場はフィリピン島に移るも、一艦一機の補給無き守備隊に⁽¹⁶⁾ 飢餓との戦いが始まる。さつま芋の葉が塩汁に浮かぶその下に米粒少しが普通。全員次第に痩せ衰えて行く。これ将に飢餓の様相か。荒れ地を耕しても何もできない。何とかかんとか食べそうなものを探してくる。バナナの花、茎、根、⁽¹⁷⁾ ビンロー樹の芽等、犬猫も、ヘビやトカゲも姿を消し、それでも頑張⁽¹⁸⁾って漸く畑に南瓜、⁽¹⁹⁾ タピオカ、パパイヤが少しかけるようになる。夜間時折り銃声が響く。各部隊はそれぞれ食糧庫や畑を守る。軍紀⁽²⁰⁾、軍律もない事件も増えてくる。しかし、この苦境の中でも陸海守備隊の戦闘態勢は厳として保たれ、愛する祖国のために戦い抜かんの闘魂に少しも揺るぎはなかった。

司令部は全軍をあげて二島奪回作戦を考えていた。

昭和35年，陸海の生還軍人及び民間人，更に共和国の人々の献金により，旧南洋庁があったコロール島に戦没者の慰霊碑を建立した。碑石には日英両文で次の言葉が刻まれている。

「第二次世界大戦における有数の激戦地，このパラオで亡くなられた日米両軍の兵士及び民間の人々の御霊の冥福と永遠の平和を祈願する。これらの死は決して無駄ではなく，今日の世界平和の礎となったものと信ずる。」

-
- 1 慰霊...死んだ人や動物の霊を慰めること。
 - 2 高角砲...敵の戦闘機を撃墜するために地上や戦闘艦艇に配備された火砲。
 - 3 豪北...オーストラリアの北方。
 - 4 硝煙...火薬の発火によって生じる煙。
 - 5 阿修羅の如く...激しく戦う様子のたとえ。
 - 6 火焰...ほのお。
 - 7 凄絶...非常にすさまじいこと。
 - 8 迎撃...攻めてくる相手を迎え撃つこと。
 - 9 猛烈果敢...勢いが激しく，大胆この上ないこと。
 - 10 陸軍南方総軍...太平洋戦争において，東南アジア方面全陸軍部隊を統括する総軍として，大陸命第555号に基づき昭和16年(1941)11月6日に編成された。開戦後は一連の南方作戦を指揮し，また戦前より日本領である南洋群島や，同盟国においても防衛・軍政の任に当たった。
 - 11 孤軍奮闘...援軍もなく孤立した中で懸命に戦うこと。
 - 12 連合艦隊...旧日本海軍が戦時，事変，演習の際に艦隊2個以上をもって編制した艦隊。日清戦争に際して初めて編制され，1933年以後は常時編制となった。
 - 13 遺憾...期待したようにならず，心残りであること。残念に思うこと。
 - 14 戦線離脱...戦闘を交えている地域から離れること。
 - 15 自決...自分の手で生命を絶つこと。自殺。自害。
 - 16 飢餓...食べ物がなくて飢えること。
 - 17 ビンロー...ヤシ科の植物。
 - 18 軍紀・軍律...軍隊の風紀と規律。